

美術科学習指導案

題材名「だからお札になったんだ！」（「B鑑賞」(1)ア(ア)イ(イ)，〔共通事項〕(1)アイ)

令和6年10月 第3学年 指導者 男沢 紗代

I 題材の構想

1 題材観

本題材の領域は、B鑑賞である。今回取り上げる浮世絵は、海外でも日本でも非常に人気が高い。

葛飾北斎の富嶽三十六景は、有名であるが、特に「神奈川沖浪裏」は、よく日本のビジュアルアイコンとして使用されている。これは、誰もが見たことがある浮世絵の代表作品である。一見分かりやすく単純な絵のように見えるが、構図に黄金比が使われていたり、富士山が一点透視の消失点付近に位置していたり、波に微妙な陰影があったり、波の中に隠れ富士山があったりと細かいところに絶妙な表現の工夫が隠されている。故に、小学校から中学校まで扱われる題材である。この題材を中学3年生で扱うため、時代背景や美術文化にも注目させて鑑賞していきたい。

〔共通事項〕に示された造形的な視点を豊かにするための「知識」を活用して、日本の美術作品の表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を深めていく。生徒達が想像力を働かせて作品のよさや美しさ、西洋の遠近法を取り入れたり、波が落ちるところに富士山を描いたりして、計算して大胆な構図で描き人々の目を惹いたなどの作者の意図を考え、伝え合い、自己の造形的な見方や考え方を深めていってほしい。

2 研究との関わり

私の研究課題は、「自分の表現を試行錯誤しながら追求する生徒の育成～おしゃべりしながら試す活動を通して～」である。本時では、神奈川沖浪裏のコピーを配布し、波と富士山を切り抜き、北斎よりもよい構図を目指して生徒同士がおしゃべりしながら構図を試す。この活動を通して構図の不自然さに気づき、作者の制作意図を考え、見方や感じ方を深める。この題材を扱うことで、おしゃべりしながら試す活動が目指す生徒像に対して有効かどうかを確かめたい。

3 題材の目標及び生徒の実態

	目 標	児童（生徒）の実態
知識及び技能	・余白や空間の効果、立体感や遠近感、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。（〔共通事項〕）	・余白や空間の効果をほとんどの生徒が理解している。 ・立体感や遠近感、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している生徒は少ない。
思考力、判断力、表現力等	・日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫、美術文化について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。（「B鑑賞」(1)）	・日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質を理解している生徒は少ない。 ・鑑賞では、友達と話しながらよさや美しさを感じ取ったり、表現の意図や特徴を捉えたりすることを学習している。
学びに向かう力、人間性等	・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に美術作品や美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとする。	・主体的に創造活動・鑑賞活動に取り組む生徒が多い。造形的な視点をもつことは難しいので、事前に説明して取り組ませたい。

4 評価規準

知識・技能	①余白や空間の効果、立体感や遠近感、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。
思考・判断・表現	①日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫、美術文化について考えるなどして、美

	意識を高め、見方や感じ方を深めている。
主体的に学習に取り組む態度	①美術の創造活動の喜びを味わい主体的に美術作品や美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

5 指導及び評価、ICT活用の計画（全2時間：本時第2時）

過程	時間	■ねらい □学習活動 ★ICT活用に関する事項	知	思	態	◆評価項目<方法（観点）> ○指導に生かす評価 ●評定に用いる評価
出会う・膨らませる	1本時	<p>■対話しながら構図を試す学習活動を通して北斎の富嶽三十六景「神奈川沖浪裏」のよさを見つけ、友達と伝え合わせる。</p> <p>□対話しながら富士山と波のよい構図を考える活動。★（あ）</p>	①		①	<p>◆友達とおしゃべりしたことを基に、構図やその他の造形的な視点からどんな事を感じたのか、よさは何か、作者が伝えたいことは何か想像し、自分の言葉で伝えている。</p> <p><観察、ワークシート（知・技）></p> <p>◆友達と試す活動を通して感じたことを積極的に伝えようとしている。また、友達の意見を聞いて、自分の考えを整理したり、改善したり</p> <p><観察、ワークシート（主体態）></p>
<p>[題材の学習課題] おしゃべりしながら構図を試したり、美術文化について調べ、見方を試したりする活動を通して、神奈川沖浪裏の魅力伝えよう。</p>						
<p>[本時のめあて] 色々な構図を試しながら「神奈川沖浪裏」の魅力伝えよう。</p>						
追求する・振り返る	1	<p>■神奈川沖浪裏の評価されている理由を調べ、作者の意図を想像しながら新たな魅力を考え、伝え合わせる。</p> <p>□班ごとに、インターネットを使って調べ、新たな魅力について発想を膨らませながら伝え合う。★（あ）</p>		①	①	<p>◆学習した造形的な見方、調べた美術文化を基に自分なりの見方で絵のよさを伝えることができている。</p> <p><観察、ワークシート（思・判・表）></p> <p>◆美術文化を背景とした絵の価値に気づき、友達に伝えようとしている。<観察、ワークシート（主体態）></p>
<p>[本時のめあて] 北斎のねらいを想像しながら、評価されている理由を自分の言葉で伝えよう。</p>						

* 活用する学習支援ソフト等：（あ）ロイロノート・スクール

II 第1時の学習

1 ねらい 友達とおしゃべりしながら構図を試す活動を通して、北斎の制作意図を想像し自分なりのよさを伝えさせる。

2 展開

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応 [S] ★ICT活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
1 本時のめあてをつかみ、活動の見通しをもた	○本時の活動が理解できるように、波と富士山

<p>せる。 (導入 5分)</p> <p>S : 富士山と波の配置を試すのだね。</p> <p>S : 構図を試しながら、絵のよさを伝え合うのね。</p>	<p>の画像を見せながら説明する。</p> <p>○生徒が見通しをもてるように、2時間かけてお札になった理由に迫ることを伝える。</p>
<p><めあて・課題等></p> <p>色々な構図を試し、「神奈川沖浪裏」の魅力を伝えよう。</p>	
<p>2 絵を見た最初の印象を黒板に貼る。 (5分)</p> <p>S : 富士山小さすぎる！</p> <p>S : 波が激しい。</p> <p>S : なんでこんな構図なの？</p>	<p>○生徒が思考の深まりを感じられるように、最初に感覚的に見た絵の印象を簡単に一言書いて黒板に貼らせる。</p>
<p>3 友達とおしゃべりしながら北斎の波と富士山の一番よいと思う構図を撮影する。気付いたことを付箋に書いて貼る。 (★ ロイロノート・スクール) (展開 20分) (撮影する時の対話)</p> <p>S : 富士山は波の上に来たらどうかな。</p> <p>S : それじゃあ、サーフィンしているみたいだ。</p> <p>S : では、波の左に富士山は？</p> <p>S : それでは、右側が空きすぎてバランスが悪い。</p> <p>S : じゃあ、右側の端っこはどう？富士山の下が見えちゃうからちょっと傾ける？</p> <p>S : それでは、重力がおかしい方向にかかっているみたい。やっぱり真ん中かなあ。</p> <p>S : うん。バランスはいいね。富士山を大きくして目立たせたらどう？前にもって来て。どのくらいの大きさがいいか、一回画像をとってみよう。</p>	<p>◎北斎の波と富士山を班のメンバー全員でおしゃべりしながら構図を試す。</p> <p>○対話の方向性がずれている班には、教員が入って修正する。(作者の意図を想像させる。)</p>
<p>北斎が描きたかったのは、富士山か波か？</p>	
<p>(付箋に貼る時の対話)</p> <p>S : 構図を試してみて、富士山が小さすぎると思ったけど、なんでこの構図にしたのかな。</p> <p>S : 波の間からちょうど富士山が見えるなんて、きっとわざと富士山をこの大きさに描いたのだよね。</p> <p>S : 波の激しさを表現するために富士山を小さく描いたのではないかな。</p> <p>S : 波がこれから落ちるだろう場所に富士山があるよ。これは、富士山に目がいくように誘導しているのではないかな。</p> <p>S : だとしたら、北斎が描きたかったのは、波？富士山？</p>	<p>○生徒が絵のよさについておしゃべりしやすいように、プリントアウトした神奈川沖浪裏に気付いたことをおしゃべりしながら付箋で貼っていく。</p> <p>○造形的な視点で絵を見るために、視点を黒板に書いておく。</p> <p>○よさに気づけない班は、構図を試した時に対話したことを思い出して書くように促す。</p> <p>○生徒が作者の意図を想像できるように、意図を想像して絵のよさを話せた班に発表させる。(意図的指名)</p>
<p>4 1～2班、発表し全体に共有する。 (展開① 10分)</p> <p>S : 僕たちは、富士山の位置は、真ん中が一番安定すると思いました。富士山の大きさが大きすぎると波が目立たないので大きさのちょう</p>	<p>○構図のバランス、富士山の大きさや位置による全体への影響を確認するために、意図的に班を指名する。</p>

<p>どよい塩梅を探したらこうなりました。</p>	
<p>5 自分の考えをロイロノートに入力し、発表する。</p> <p>(★ ロイロノート) (終末①10分)</p> <p>S: 私は、構図を試してみて、富士山と波の大きさの差が激しいし、静と動って感じで対照的に描かれているのは、波の激しさを際立たせたためだと思います。でも、北斎は、波が落ちるところに富士山を描いて、富士山に目が行くように工夫しているとも思いました。北斎は、富士山を見せたかったのではないかと思います。</p>	<p>○造形的な見方で自分の作品に対する考えをまとめられた生徒を意図的に指名し、共有する。</p> <p>◆評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆作者の意図を想像しながら、造形的な見方から絵のよさを自分の言葉で伝えることができている。 <ワークシート、観察(知①)> ◆友達と試す活動を通して感じたことを積極的に伝えようとしている。また、友達の意見を聞いて、自分の考えを整理したり、改善したりしている。 <観察、ワークシート(主体態)>

3 板書計画



おしゃべりするときの視点
構図、作者の意図

①波と富士山の構図をおしゃべりしながら試し撮影する。

②おしゃべりしながら気付いたことを付箋に書いて絵に貼る。

③ロイロノートに個人の意見を入力する。

今日の流れ

題材名「だからお札になったんだ!？」 1/2

めあて おしゃべりしながら構図を試す活動を通して、北斎の富嶽三十六景「神奈川沖浪裏」のよさを伝えよう。

4 環境設定

馬蹄形の班の配置、交流しやすい机の向き

